

令和 7 年度

ブランドおおいた輸出促進協議会 総会

資 料

日時：令和 7 年 5 月 22 日（木）13：30～16：30

場所：レンブラントホテル大分 二豊の間

議事次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議長選任
- 4 議事
 - 第1号議案 令和6年度事業実績について
令和6年度収支決算について
監査報告
 - 第2号議案 令和7年度事業計画（案）について
令和7年度収支予算（案）について
 - 第3号議案 役員改選（案）について
- 5 その他
- 6 閉会

.....

資料目次

第1号議案	令和6年度事業実績について	...	1
	令和6年度収支決算について	...	8
	監査報告	...	9
第2号議案	令和7年度事業計画（案）について	...	10
	令和7年度収支予算（案）について	...	16
第3号議案	役員改選（案）について	...	17
資料	ブランドおおいた輸出促進協議会規約	...	18
	協議会組織図	...	23
研修会	研修テーマ、メモ	...	24

第1号議案 令和6年度事業実績について

県産農林水産物の輸出拡大に向け、「相手国」「輸出品目」「取引量」の拡大を戦略の柱として、取組を実施した。

中国による水産物輸入停止措置があったものの、世界的な日本食需要の拡大や、円安を追い風に会員及び関係者が積極的に輸出先国での販促活動やPR活動を進めたことにより、令和5年度と比較して輸出額は9.8億円増加し、57.9億円となり、過去最高額となった。

1 主要品目について

(1) 牛肉

外食需要が拡大する台湾における新規取引の開始や、米国・香港における堅調な需要により、輸出額は増加した。

(2) 養殖ブリ

令和5年度に引き続き ALPS 処理水放出による中国の輸入停止の影響があったものの、韓国向け活魚需要や台湾向け外食需要への対応により輸出額は増加した。

(3) 丸太

中国向けが円安等の影響により日本産にシフトしたことから、輸出額は増加した。

(4) 製材品

中国向け内装材等の需要が減少したことから、輸出額は減少した。

(5) 乾しいたけ

台湾で低単価かつ品質が向上した中国産の需要増により取引が減少したが、香港及び米国での堅調な需要により、輸出額は微増となった。

(6) 梨

高温障害による新高の収量不足により、贈答需要の高い台湾、ベトナムで取引が減少したが、香港、シンガポールでは新高以外の品種の取引が拡大し、輸出額は微減となった。

(7) かんしょ

青果は国内向けの好調により、香港やシンガポールで取引が減少したが、冷凍加工品は米国で増加したため、輸出額は増加した。

県農林水産物の輸出実績

		輸出量				輸出額（百万円）			
		R5	R6	増減	増減比	R5	R6	増減	増減比
農林水産物計(注)						4,817	5,793	976	+20%
品 目	輸出量 単 位								
牛肉	(t)	78	110	32	+41%	558	699	141	+25%
養殖ブリ	(t)	1,152	1,168	16	+1%	1,208	1,413	205	+17%
丸太	(千m³)	141	163	22	+16%	1,987	2,473	486	+24%
製材品	(千m³)	8.1	7.6	△ 0.5	△6%	361	338	△ 23	△6%
乾しいたけ	(t)	3.5	3.4	△0.1	△3%	29	30	1	+2%
梨	(t)	130.3	129.6	△ 0.7	△1%	70	69	△ 1	△1%
かんしょ	(t)	72	80	8	+11%	37	39	2	+6%

2 国の動向を踏まえた対応について

- ・ 会員の行う輸出産地づくり（国庫補助事業の活用等）や輸出事業計画の実施について支援
- ・ フラッグシップ輸出産地に認定（牛肉、養殖ブリ）

【R 5 年度実績】 4, 8 1 7 百万円

【R 6 年度実績】 5, 7 9 3 百万円

【 前年増減 】 2 0 % 増

～ブランドおおいた輸出促進協議会 令和6年度の実績～

第1 情報収集・共有対策

(1) 月日：令和6年5月27日（月）

(2) 内容：総 会

研修会 講演：「日本産食品市場の現状と輸出のヒント」

講師：ジェトロ香港 海外コーディネーター

彦坂 久美子 氏

第2 販売促進・流通対策

→ 別添写真 P1～2

1 台湾（牛肉、乾しいたけ、養殖ブリ、養殖ヒラメ、養殖マガキ）

・内 容：「おんせん県おおいたの夕べ」

・実施日：令和6年12月16日（月）

・オークラプレステージ台北を会場とし、VIP 客や美食家、メディア、ブロガーを対象にホテルシェフが考案した創作料理の試食会を開催

2 台湾（養殖ブリ、梨、柑橘、シャインマスカット）

・内 容：台湾農林水産物フェア

・実施日：令和6年8月25日（土）～26日（日）

・台北市内高級百貨店（SOGO 忠孝店）で農産物のPRと養殖ブリの解体ショーを開催（大分県台湾プロモーションとの連携）

3 香港（梨、シャインマスカット、かんしょ、かぼす、白ねぎ、乾しいたけ、牛肉、養殖ブリ、養殖ヒラメ、ハモ） → 別添写真 P2

・内 容：「大分美食之旅」（大分県農林水産物フェア）

・実施日：令和6年11月4日（月）～令和7年1月5日（日）

・高級日本食料理店「権八」2店舗を会場として、県産品メニューフェアを実施

4 シンガポール（養殖ブリ、ハモ、白ねぎ、かんしょ）

・内容：「大分県農林水産物フェア」

・実施日：令和7年1月10日（金）～2月28日（金）

・高級日本料理店「竹葉亭」1店舗を会場として、ランチメニューフェアを実施

第3 産地間連携対策

九州・山口各県連携海外販売促進フェア

マレーシア（大分県産品：シャインマスカット）

実施日：令和7年1月10日（金）～19日（日）10日間

内 容：SUNFRESH Seibu Malaysia 店で販売促進フェアを開催

第4 輸出プレイヤーの新たな発掘対策支援

輸出に関心のある、または、今後、輸出拡大に取り組もうとしている事業者（新規輸出プレイヤー）が行う輸出開始・拡大に向けた経費の一部を助成し、協議会の加入への契機づくりを進めた。

令和6年度は1事業者の取組を支援し、本協議会には、水産部会で1業者が新たに加入した。

第5 各部会の取組

～農産部会～

→ 別添写真 P3～5

●販売促進等の実施

【日田梨】

台湾：県プロモーション（SOGO 忠孝店 8/24～25）

春節フェア（SOGO 復興店等 1/10～12）

香港：量販店フェア（YATA 12/20～28）

ベトナム：百貨店フェア（ホーチミン高島屋 12/20～1/27）

果実専門店フェア（KLEVER FRUIT 1/3～20）

シンガポール：量販店フェア（DONDONDONKI 9/7～8）

グアム：量販店フェア（DONDONDONKI 9/14～22）

ハワイ：量販店フェア（DONDONDONKI 9/14～22）

【甘太くん】

香港：輸出支援 PR 連携イベント（日本人倶楽部 12/13）

量販店フェア（YATA 12/15～21）

シンガポール：量販店フェア（Fair Price 12/14～29）

●着荷調査

- ・台湾：ハウスみかん着荷調査（9/4～6）

●視察

- ・ベトナム向けぶどう輸出解禁に向けた現地農園視察（11/2～6）

●デジタルマーケティング

- ・ベトナム、タイ：SNS 等での日田梨のデジタルマーケティング（12～1）

●産地づくり

台湾にハウスミカンを初輸出した（残留農薬基準に対応）

●決算状況

収 入 計	2 2, 6 1 4, 9 2 1
支 出 計	1 7, 3 4 9, 7 1 8
差 引	5, 2 6 5, 2 0 3

～林産部会～ → 別添写真 P 6

●販売促進等の実施

スウェーデン：バイヤー招聘実施（4/17）

香港：バイヤー招へい（5/15）

現地展示会出展（香港フード EXPO：8/15～17）

大分の夕べ（12/14）

量販店での春節フェア（City Super：1/18～1/28）

台湾：ホテルオークラ台北県内視察（3/4）

米国：量販店フェア（マルカイハワイ九州フェア：2/13～16）

国内：海外バイヤー向け展示会出展（アグリフード EXPO（東京）：8/21～8/22）

●決算状況

収 入 計	6, 1 7 0, 6 4 2 円
支 出 計	4, 0 6 2, 0 6 3 円
差 引	2, 1 0 8, 5 7 9 円

～水産部会～ → 別添写真 P 7 ～ 8

●販売促進等の実施

【養殖ブリ】

台湾：ブリ解体ショーPR（8/24）

中国：現地商談（1/13～1/15）

シンガポール：レストランシェフを対象とした水産物セミナー（2/12）

国内：ジャパンインターナショナルシーフードショー東京出展（8/20～24）

【養殖クロマグロ】

シンガポール：レストランシェフを対象とした水産物セミナー（2/12）

【養殖マガキ】

国内：ジャパンインターナショナルシーフードショー東京出展（8/21～23）

国内：ジャパンインターナショナルシーフードショー大阪出展（2/19～20）

●決算状況

収 入 計	2 1, 2 2 3, 2 6 5 円
支 出 計	7, 2 0 2, 2 7 1 円
差 引	1 4, 0 2 0, 9 9 4 円

●販売促進等の実施

【県産和牛等】

香 港：飲食店フェア（2/13～3/3）

消費者層が異なる2店舗において、現地シェフによる創作料理の
提供・おおいた和牛メニューフェア実施

米 国：現地飲食店関係者等に向けた展示会における「Oita Wagyu」PR（9/24）

飲食店関係者向け「Oita Wagyu」創作料理試食会・商談（11/23）

台 湾：カッティング指導・料理教室（10/23-24）

おんせん県おおいたの夕べにて大分和牛の試食・PR（12/16）

KOLを活用した情報発信・イベントPR事業（12月）

●決算状況

収 入 計	44,290,496円
支 出 計	38,407,968円
差 引	5,882,528円

参考

●丸太

- ・原木市場等が業者を通じて出荷
- ・スギ丸太は主に中国へ輸出。少量ながら台湾、韓国へも輸出。
中国では円安等の影響により日本産にシフトしたことから、前年度と比較して
輸出量は増加。

●製材品

- ・製材所等が商社を通じて出荷
- ・中国、フィリピン、韓国等へ出荷。中国では内装材等の需要が減少しており、
中国への輸出量が減少。
- ・ベトナムでの現地商談・視察・市場調査（1/14～1/17）
- ・フィジー向けサンプル出荷の実施（1/25）
- ・中国での現地商談・視察・市場調査（2/19～2/22）

令和6年度活動実績

月	日	部会				国・地域	品目	活動内容
		農	畜	林	水			
4	16～19				○	シンガポール	養殖ブリ・養殖クロマグロ	バイヤー等産地招へい
	17			○		スウェーデン	乾しいたけ	バイヤー等産地招へい
5	15			○		香港	乾しいたけ	バイヤー等産地招へい
	27	○	○	○	○			総会
	16	○				ベトナム	シャインマスカット、白ねぎ	バイヤー等産地招へい
	28			○		米国	県産材	テスト輸送
7	4	○			○	台湾	日田梨、養殖ブリ	バイヤー等産地招へい・フェア協議
	30～31				○	シンガポール	養殖ヒラメ、養殖マガキ	バイヤー等産地招へい(JETRO)
	4～5		○			タイ	牛肉	バイヤー等産地招へい
8	14～17			○		香港	乾しいたけ	香港フードEXPO
	6～10、30～1	○				香港	シャインマスカット	量販店でのフェア
	24～25	○			○	台湾	養殖ブリ・シャインマスカット・梨・柑橘	量販店でのフェア
	26	○	○	○	○	台湾	日田梨、柑橘、牛肉、乾しいたけ、養殖ヒラメサ、養殖ヒラメ	台湾プロモーション公式レセプション
	21～23				○	国内	養殖ブリ・養殖カキ	ジャパンインターナショナルシーフードショー出展
	19	○				台湾	日田梨	バイヤー等産地招へい
	5	○				シンガポール	シャインマスカット、柑橘	現地商談・視察
	21～22			○		国内	乾しいたけ	アグリフードEXPO
9				○		香港	乾しいたけ	量販店での中秋節フェア
				○		香港	乾しいたけ	貿易協会と連携した販促フェア
	4	○				香港	日田梨	現地展示会
	7～8	○				シンガポール	シャインマスカット	量販店での中秋節フェア
	10		○			香港	牛肉	バイヤー等産地招へい
	10～14		○			米国	牛肉	カット指導、現地試食会、現地商談・視察
	15～23		○			タイ	牛肉	バイヤー等産地招へい
	19～21	○			○	香港	品目横断(白ネギ、養殖ブリ、カキ、ヒラメ)	バイヤー等産地招へい
10	4～6		○			台湾	牛肉	バイヤー等産地招へい
	31	○			○	シンガポール	品目横断(白ネギ、甘太くん、養殖ブリ、天然魚)	バイヤー等産地招へい
	22～24		○			台湾	牛肉	カット指導、現地試食会
	5～			○		フランス	乾しいたけ	貿易協会と連携した販促フェア
11	4～1/5	○	○	○	○	香港	品目横断(かぼす、白ネギ、甘太くん、シャイン、牛肉、養殖ブリ、養殖ヒラメ、ハモ、ヒカリ、カキ)	県産品レストランフェア
	19				○	中国	水産物	バイヤー等産地招へい
	21	○	○	○	○	米国	品目横断(牛肉、養殖ブリ、乾しいたけ)	現地商談会(米国プロモーション)
	21～22			○		国内	乾しいたけ	沖縄大貿易会出展
	23		○			米国	牛肉	小売店等での販促活動
12	16	○	○	○	○	台湾	品目横断(かぼす、乾しいたけ、牛肉、養殖ブリ、ヒラメ、カキ)	飲食店関係者等向け試食会の開催
	14、15、28、29	○				シンガポール	甘太くん	量販店での販売促進
		○				マレーシア	甘太くん	量販店での販売促進
	14～20	○				香港	日田梨、甘太くん	量販店でのフェア
	13	○	○	○	○	香港	品目横断(甘太くん、白ネギ、養殖ブリ)	甘太くんを中心とした品目横断
1	10～19	○				マレーシア	シャインマスカット	九州・山口連携フェア
	10～2/28	○	○	○	○	シンガポール	品目横断(白ネギ、冷凍甘太くん、養殖ブリ、ハモ)	飲食店等でのフェア(竹葉亭)
	13～15				○	中国	養殖ブリ、シマアジ	現地輸入事業者等との商談
	14～17			○		ベトナム	県産材	現地商談・視察
	20～21	○			○	香港	柑橘、ハモ、養殖ブリ、養殖ヒラメ	KOL産地招へい(香港pf連携)
	12	○				台湾	日田梨	百貨店でのフェア
	3～4、12	○				ベトナム	日田梨	果実専門店でのフェア
	18、19、25、26	○				シンガポール	シャインマスカット、柑橘	量販店でのフェア
	25			○		フィジー	県産材	サンプル出荷
2	19～22			○		中国	県産材	現地商談・視察
	6～13		○		○	台湾	品目横断(牛肉、養殖ブリ、カキ)	大分県メニューフェア(BtoC)
	12				○	シンガポール	養殖ブリ・養殖クロマグロ	飲食関係者向け水産物セミナー
	13～3/2		○			香港	牛肉	おおいと和牛メニューフェア(BtoC)
	14～16			○		米国	乾しいたけ	九州フェア
	17～3/1				○	シンガポール	養殖ブリ・ハモ	飲食店等でのフェア
	18～20	○			○	シンガポール	白ネギ、かんしょ、養殖ブリ、ハモ、マグロ	バイヤー等産地招へい
3	4～7		○	○	○	台湾	牛肉、しいたけ、カキ、養殖ブリ	バイヤー等産地招へい
	12～14			○		国内	乾しいたけ	フーデックスJAPAN

令和6年度収支決算について

1 一般会計

(収入の部)

単位：円

区 分	令和6年度 予算額 (①)	令和6年度 決算額 (②)	増 減 ②-①	備 考
負 担 金	4,898,000	6,704,296	1,806,296	台湾オークウェア負担金 (畜産部会) 1,806,296
繰 越 金	7,370,535	7,370,535	0	
雑 収 入	465	3,876	3,411	預金利息 3,876
計	12,269,000	14,078,707	1,809,707	

(支出の部)

単位：円

区 分	令和6年度 予算額 (①)	令和6年度 決算額 (②)	増 減 ②-①	備 考
海外販売促進活動費	9,468,000	9,233,611	△234,389	
九州・山口連携負担金	1,000,000	372,508	△627,492	
バザー招へい費	1,600,000	1,252,475	△347,525	
協議会運営経費	200,000	155,157	△44,843	
予 備 費	1,000	0	△1,000	
計	12,269,000	11,013,751	△1,255,249	

(収入) 14,078,707 円 - (支出) 11,013,751 円 = (次年度繰越) 3,064,956 円

監 査 報 告

ブランドおおいた輸出促進協議会規約 23 条の規定に基づき、令和 6 年度事業実績及び収支決算について、令和 7 年 5 月 8 日に監査をしましたところ、その内容は訂正に処理されていることを認めましたので報告します。

令和 7 年 5 月 8 日

監事

大分県農業協同組合 本店園芸販売部

部長 川野 貴大

大分県椎茸農業協同組合 直販営業部

部長 難波 博樹

※監査報告書の原本には監事の署名がありますが、個人情報保護のため、印字に変えております。原本は事務局で保管しています。

第2号議案 令和7年度事業計画（案）について

本県農林水産物の令和7年度輸出目標は57億円を掲げており、この目標を達成するため、『相手国』・『輸出品目』・『取引量』の拡大を柱に、下記のとおり戦略的な海外展開に取り組む。

1 主要品目について

（1）梨

新高の生産量減少を踏まえ、あきづき、豊水などの品種を中心とした効果的な販売促進活動を行うため、輸出商社等との連携を強化する。台湾ではシャインマスカットと柑橘と合わせたフェアを実施して販促効果を高めるとともに、ハワイやグアムなど新たな国での販路開拓を進め定期商流化する。

（2）かんしょ

国内需要が引き続き高いことが予想されるため、輸出事業者に対して早期に提案し、輸出向け数量を確保するとともに、冷凍加工品の積極提案を行う。

（3）乾しいたけ

有機 JAS 商品の販売力強化や国内商社と連携したバイヤー招聘により、新規販路開拓を行う。

（4）牛肉

米国や台湾、香港等での実需者向け試食会等のプロモーション活動の強化や、現地輸入業者と連携したカット指導・創作料理試食会などの飲食店フェア等の実施に加え、今年度は畜産公社が対欧州連合向け施設認定を取得したことに伴い、欧州連合向け PR 活動を実施し、輸出の拡大を図る。

（5）養殖ブリ

国際認証（MEL 等）の取得促進等により輸出先国のニーズに対応した産地づくりの推進、韓国向け活魚需要への対応強化、高次加工品の米国や台湾での展示会出展による求評など新規販路開拓を図る。

2 その他

輸出事業計画（柑橘、シャインマスカット、牛肉、製材品、養殖ブリ、梨）の実行及び同計画に沿った国庫補助事業等を活用して輸出産地づくりの取組を支援する。

また、白ねぎ、冷凍焼き芋、カボス、ハモ及び養殖マガキなど新たな輸出品目の販売促進活動を強化する。

～ブランドおおいた輸出促進協議会 令和7年度の実施計画～

第1 情報収集・共有対策

○総会・研修会/令和7年5月22日（木）13：30～16：30

（1）総会

（2）研修会

内 容「シンガポールへの農林水産物輸出状況や現地ニーズについて」

講 師：ジェトロシンガポール

大塚 嘉一（オオツカ ヨシカズ）氏

第2 販売促進・流通対策

協議会本体として、品目横断的プロモーション（商談・フェア、展示会、バイヤー招へい）を実施することで、農林水産物の総合的な販路拡大を図る。

- ・シンガポール、香港（梨、柑橘、シャインマスカット、冷凍焼き芋、白ねぎ、かぼす、牛肉、乾しいたけ、養殖ブリ、養殖マガキ、ハモ等）
- ・台湾（梨、柑橘、シャインマスカット、牛肉、乾しいたけ、養殖ブリ、養殖マガキ、ハモ等）
- ・米国（牛肉、養殖ブリ、乾しいたけ、冷凍焼き芋 等）

第3 産地間・輸出関係団体との連携

輸出に関係する団体と連携して、新規販路の開拓を図る。

1 日本ブランド（オールジャパンブランド）を推進する団体との連携

（1）国が設置した海外の輸出支援プラットフォーム

（2）品目別輸出団体

2 九州各県との連携

九州各県と連携し、フェア等に出展し新規販路開拓等を図る。

3 関係団体等との連携

（1）JETRO大分

（2）大分県貿易協会

第4 輸出プレイヤーの新たな発掘対策支援

輸出に関心のある、または、今後、輸出拡大に取り組もうとしている事業者（新規輸出プレイヤー）が行う輸出開始・拡大に向けた経費の一部を助成し、協議会の加入への契機づくりを進める。

第5 各部会の取組計画

～農産部会～

基本方針

新たな販路の開拓に向けたバイヤー招へいや商談会への出展、取引量の拡大に向けた販売促進活動の実施等に取り組む。輸出産地づくりにも団体・生産者等と連携して取り組み、県産農産物の輸出拡大を図っていく。

「相手国の拡大」及び「輸出品目の拡大」

○輸出品目の定着・拡大に関する取組

- ・台湾：柑橘の品種リレー出荷体制の構築（デコポン等初輸出）
- ・グアム、ハワイ：日田梨の販促活動による取引定着

「輸出品目の取引量拡大」

○輸出業者および輸入業者との協議、販売促進活動

- ・台湾：新高以外の梨の取引拡大
- ・香港：かんしょ、シャインマスカットの取引拡大
- ・シンガポール：かんしょ、柑橘類等の取引拡大

○日本青果物輸出促進協議会や輸出支援プラットフォームとの連携

予算規模	24,175,000円
------	-------------

～林産部会～

基本方針

輸出業者・海外バイヤー県内招聘による産地理解度向上と商談実施及び現地フェアでの販売促進強化

「相手国の拡大」及び「輸出品目の拡大」

○国内商社と連携した継続的な香港・台湾への販促活動推進

「輸出品目の取引量拡大」

- 国内商社及び現地インポーターとの連携強化（香港、米国、欧州連合等）
- 国内外における国際展示会へのブース出展

予算規模	7,652,000円
------	------------

～水産部会～

基本方針

養殖ブリ、養殖カキ等を中心に既存輸出国での輸出量拡大を目指したプロモーション等への参画

「相手国の拡大」及び「輸出品目の拡大」

- ・タイ、インドネシア：養殖ブリ、養殖カキを中心とした展示会出展、商談
「輸出品目の取引量拡大」
- ・韓国：養殖ブリの活魚出荷量拡大に向けた商談
- ・台湾・米国：養殖ブリを中心とした展示会出展
- ・国内：国際認証（MEL 等）の取得促進による輸出先国のニーズに対応した産地づくりの推進

予算規模	22,914,194円
------	-------------

～畜産部会～

基本方針

米国、台湾、香港、欧州連合向け牛肉等を中心に現地輸入業者等と連携した販売促進活動の実施による既存輸出国に対する輸出量の拡大

「輸出品目の取引量拡大」

- 米国、台湾、香港、欧州連合向け牛肉を中心に、現地輸入業者等と連携したフェア開催等による取扱量の拡大
- 輸出先国の基準に対応するための産地づくりの推進
(動物福祉対応及び血斑発生低減に向けた取組の実施)

予算規模	54,419,200円
------	-------------

参考：丸太、製材品

基本方針

既存輸出国に対する輸出量、輸出品目及び相手国の拡大

「相手国の拡大」及び「輸出品目の拡大」

○製材品

- ・ オセアニア諸国へのサンプル出荷の実施
- ・ 新規販路開拓に向け民間商社等との連携

「輸出品目の取引量拡大」

○丸太

- ・ 安定出荷に向け民間商社等と連携
- ・ 港湾課等と連携し、県内港の利用拡大に向けた協議

○製材品

- ・ 中国等、既存輸出国における新たな需要開拓による取引拡大
- ・ トライアル出荷先（ベトナム、フィジー等）のフォローアップ

令和7年度活動計画

月	国・地域	部会				品目	活動内容
		農	畜	林	水		
4	米国		○			牛肉	現地大手スーパーでのBtoC試食イベント
		○	○	○	○		総会
5	香港			○		乾しいたけ	バイヤー等産地招へい
	韓国				○	ブリ、タイ	現地商談・市場調査
6	米国		○			牛肉	バイヤー等産地招へい
	ベトナム		○			牛肉	現地商談会
	台湾				○	養殖ブリ	FOOD TAIPEI出展
	台湾				○	養殖カキ	現地商談
	台湾	○			○	日田梨、養殖ブリ	バイヤー等産地招へい・フェア協議
7	ベトナム		○			牛肉	カット指導、現地試食会（BtoB）
	米国		○			牛肉	現地事業者向けカッチング技術指導
	ベトナム			○		県産材	現地商談・視察
	国内			○		乾しいたけ	輸出EXPO
	中国				○	養殖ヒラマサ	現地商談・市場調査
	タイ				○	養殖ブリ、カキ等	The mall JAPAN discovery 出展
	香港	○				シャインマスカット	量販店でのフェア
8	台湾	○			○	養殖ブリ・シャインマスカット・梨・柑橘	量販店でのフェア
	台湾	○	○	○	○	日田梨、柑橘、牛肉、乾しいたけ、養殖ヒラマサ、養殖ヒラメ	台湾プロモーション公式レセプション
	台湾	○				日田梨	バイヤー等産地招へい
	ベトナム		○			牛肉	現地輸入事業者等との商談
	米国		○			牛肉	バイヤー等産地招へい
	国内				○	養殖ブリ、その他水産物	ジャパン・インターナショナル・シーフードショー出展
	シンガポール	○				シャインマスカット	量販店での中秋節フェア
9	香港	○	○	○	○	品目横断(白ネギ、養殖ブリ、カキ、ヒラメ)	バイヤー等産地招へい
	台湾	○				日田梨	量販店でのフェア
	香港	○				日田梨、柑橘	量販店でのフェア
	香港	○				日田梨	現地展示会
	グアム	○				日田梨	量販店でのフェア
	ハワイ	○				日田梨	量販店でのフェア
	台湾	○	○	○	○	品目横断（かぼす、乾しいたけ、牛肉、養殖ブリ、ヒラメ、カキ）	おんせん県おおいたのタベ
	シンガポール	○	○	○	○	品目横断(白ネギ、甘太くん、養殖ブリ、天然魚)	バイヤー等産地招へい
10	EU		○			牛肉	ANUGA2025展示会出展
	フィリピン		○			牛肉	現地輸入事業者等との商談
	フィジー			○		県産材	バイヤー等産地招へい
	ベトナム			○		県産材	バイヤー等産地招へい
	香港			○		乾しいたけ	中秋節フェア
	台湾				○	養殖ブリ、カキ等	現地販促、商談
	香港	○	○	○	○	品目横断(かぼす、白ネギ、甘太くん、シャイン、牛肉、養殖ブリ、養殖ヒラメ、ハモ、ヒラギなど)	県産品レストランフェア
11	米国	○	○	○	○	品目横断(牛肉、養殖ブリ、乾しいたけ)	現地商談会（米国プロモーション）
	米国	○	○	○	○	品目横断(牛肉、養殖ブリ、乾しいたけ)	米国プロモーション公式レセプション・飲食店フェア
	米国		○			牛肉	展示会・飲食店フェア
	国内			○		乾しいたけ	中縄大交易会
	国内			○		乾しいたけ	海外向け展示会
	米国				○	水産物	FOOD EXPO出展
	インドネシア				○	水産物	現地販促、市場調査
	台湾	○	○	○	○	品目横断（かぼす、乾しいたけ、牛肉、養殖ブリ、ヒラメ、カキ）	飲食店関係者等向け試食会の開催
12	シンガポール	○				甘太くん	量販店での販売促進
	マレーシア	○				甘太くん	量販店での販売促進
	香港	○				日田梨、甘太くん	量販店でのフェア
	米国		○			牛肉	バイヤー等産地招へい
	香港		○			牛肉	カット指導、現地試食会（BtoB）
	オセアニア			○		県産材	サンプル出荷
	国内			○		乾しいたけ	有機認証取得
	マレーシア	○				シャインマスカット	九州・山口連携フェア
1	シンガポール	○	○	○	○	品目横断(白ネギ、冷凍甘太くん、養殖ブリ、ハモ)	飲食店等でのフェア(竹葉亭)
	香港	○	○	○	○	柑橘、ハモ、養殖ブリ、養殖ヒラメ	KOL産地招へい(香港pf連携)
	シンガポール	○				シャインマスカット、柑橘	量販店でのフェア
	台湾	○	○	○	○	柑橘、牛肉、乾しいたけ、養殖ヒラマサ、養殖ヒラメ	台湾プロモーション公式レセプション
	シンガポール	○			○	白ネギ、かんしょ、養殖ブリ、ハモ、マグロ	バイヤー等産地招へい
2	台湾		○			牛肉	展示会・飲食店フェア
	米国			○		乾しいたけ	九州フェア
3	香港			○		乾しいたけ	春節フェア
	米国				○	水産物	ボストンシーフードショー出展
未定	マカオ		○			牛肉	飲食店等でのフェア
	香港		○			鶏卵	現地商談会
	シンガポール		○			鶏卵	現地輸入事業者等との商談

令和7年度収支予算（案）について

（収入の部）

単位：円

区 分	令和7年度 予算額 (①)	令和6年度 予算額 (②)	増 減 ①-②	備 考
負 担 金	7,295,800	4,898,000	2,397,800	大分県（4,296千円） 協議会各部会（3,000千円）
繰 越 金	3,064,956	7,370,535	△4,305,579	
雑 収 入	4,244	465	3,779	
計	10,365,000	12,269,000	△1,904,000	

（支出の部）

単位：円

区 分	令和7年度 予算額 (①)	令和6年度 予算額 (②)	増 減 ①-②	備 考
海外販売促進活動費	7,564,000	9,468,000	△1,904,000	
九州・山口連携負担金	1,000,000	1,000,000	0	
バヤ-招へい費	1,600,000	1,600,000	0	
協議会運営経費	200,000	200,000	0	
その他	0	0	0	
予 備 費	1,000	1,000	0	
計	10,365,000	12,269,000	△1,904,000	

第3号議案 役員改選について

令和7年度役員（案）（規約第6条）

役 職	所 属	役 職	氏 名	備 考
会 長	大分県農林水産部	審議監	信貴 竜人	
副会長	大分県農林水産部林産振興室	参事監兼室長	神鳥 浩明	
〃	大分県農林水産部漁業管理課	審議監兼課長	大塚 猛	
〃	株式会社大分県畜産公社	代表取締役専務	梅木 英伸	
幹事長	大分県農林水産部おおいブランド推進課	課 長	田崎 信生	
監 事	大分県農業協同組合園芸販売部	部 長	川野 貴大	
〃	大分県椎茸農業協同組合直販営業部	部 長	難波 博樹	

令和6年度役員（規約第6条）

役 職	所 属	役 職	氏 名	備 考
会 長	大分県農林水産部	審議監	安東 正浩	
副会長	大分県農林水産部林産振興室	室 長	神鳥 浩明	
〃	大分県農林水産部漁業管理課	審議監兼課長	大屋 寛	
〃	株式会社大分県畜産公社	代表取締役専務	河野 宣彦	
幹事長	大分県農林水産部おおいブランド推進課	課 長	田崎 信生	
監 事	大分県農業協同組合園芸販売部	部 長	人見 泰則	
〃	大分県椎茸農業協同組合直販営業部	部 長	難波 博樹	

参考

令和7年度事務局（事務局組織規程第2条）

役 職	所 属	役 職	氏 名	備 考
事務局長	大分県農林水産部おおいブランド推進課	参 事	安倍 幸則	
事務局次長	〃	課長補佐	佐倉 理子	
輸出担当	〃	主 査	三代 和樹	
〃	〃	主 査	岩田 菜美	
〃	〃	主 査	伊藤 友仁	
〃	〃	主 査	梨田 健也	
〃	大分県農林水産部林産振興室	主 査	小野 裕喜	
〃	大分県農林水産部漁業管理課	主 査	大竹 周作	

ブランドおおいた輸出促進協議会規約

第1章 総 則

(名称)

第1条 この団体の名称は、ブランドおおいた輸出促進協議会（以下「輸出協議会」という。）と称する。英文名を Brand Oita Exportation Promotion Council とする。

(目的)

第2条 輸出協議会は、県産農林水産物（大分県で生産される農産物、林産物、水産物、畜産物等）の海外輸出の促進、販路の開拓の推進によって、地域農林水産業の振興を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 輸出協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 農林水産物・食品の輸出に係る情報収集・分析及び共有化に関すること。
- 二 農林水産物・食品の輸出に係る販売促進及び流通に関すること。
- 三 輸出促進に関する方策の検討及び実施に関すること。
- 四 農林水産物等輸出促進全国協議会に関すること。
- 五 農林水産ニッポンブランド都道府県協議会に関すること。
- 六 前各号に掲げるもののほか、輸出協議会の目的を達成するために必要な業務を行うこと。

第2章 専門部会及び役員

(専門部会)

第4条 前条の目的を達成するため、輸出協議会に専門部会（以下「部会」という。）を置く。

- 2 部会は、農産部会、林産部会、水産部会、畜産部会とする。
- 3 部会の運営は、各部会の規約に基づくものとする。

(役員及び定数)

第5条 輸出協議会に、次の役員を置く。

- 一 会 長 1名
- 二 副会長 3名以内
- 三 幹事長 1名
- 四 監 事 2名

(役員の選任)

第6条 会長は、大分県農林水産部審議監の職にある者をもって充てる。

- 2 副会長は、林産部会長、水産部会長、畜産部会長をもって充てる。
- 3 幹事長は、農産部会長をもって充てる。
- 4 監事は、会長が選任し、委嘱する。
- 5 役員は、相互に兼ねることができない。

(役員の職務)

第7条 会長は、輸出協議会を代表し、業務を統括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けた時は、あらかじめ定めた順序によりその職務を代行する。
- 3 幹事長は、会長及び副会長を補佐して、輸出協議会の日常の業務を処理し、会長及び副会長に事故があるとき、又は会長及び副会長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 4 役員は、役員会を構成し、業務の執行を決定する。
- 5 監事は、輸出協議会の会計監査を行う。

(役員の任期)

第8条 役員の任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠又は定数の増により選任された役員の任期は、前項の規定にかかわらず、前任者又は現任者の残任期間とする。
- 3 役員は、辞任した場合又は任期満了の場合においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(役員の解任)

第9条 役員が次の各号の一に該当するときは、会長は当該役員を解任することができる。

- 一 心身の故障のため、職務の執行に堪えないと認められるとき。
 - 二 職務上の義務違反その他役員たるにふさわしくない行為があると認められるとき。
- 2 前項第2号の規定により解任する場合は、当該役員に対しあらかじめその旨を通知する。

(役員の報酬等)

第10条 役員は、無報酬とする。

第3章 会 員

(会員)

第11条 輸出協議会の会員は、各部会に属する者とする。

- 2 前項に定めるもののほか、会員に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第4章 総 会

(総会の種別等)

第12条 輸出協議会の総会は、通常総会及び臨時総会とする。

- 2 総会の議長は、会長がつとめる。
- 3 通常総会は、毎年1回以上開催する。
- 4 臨時総会は、次に掲げる場合に開催する。
 - 一 会員現在数の2分の1以上から会議の目的たる事項を示した書面により請求があったとき。
 - 二 その他会長が必要と認めたとき。

(総会の招集)

第13条 前条第4項第1号の規定により請求があったときは、会長はその請求のあった日から30日以内に総会を招集しなければならない。

2 総会の招集は、少なくともその開催の7日前までに、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって会員に通知しなければならない。

(総会の議決方法等)

第14条 総会は、会員現在数の過半数の出席がなければ開くことができない。

2 会員は、総会において、各1個の議決権を有する。

3 総会においては、前条第2項によりあらかじめ通知された事項についてのみ議決することができる。ただし、緊急を要する事項については、この限りでない。

4 総会の議事は、出席者の議決権の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 議長は、会員として総会の議決に加わることはできない。

(総会の権能)

第15条 総会は、この規程において別に定めるもののほか、次の各号に掲げる事項を議決する。

- 一 事業計画及び収支予算の設定又は変更に関する事。
- 二 事業報告及び収支決算に関する事。
- 三 諸規程の制定及び改廃に関する事。
- 四 その他輸出協議会の運営に関する重要な事項。

(書面又は代理人による議決)

第16条 やむを得ない理由により総会に出席できない会員は、第13条第2項によりあらかじめ通知された事項につき、書面又は代理人をもって議決権を行使することができる。

2 前項の書面は、総会の開催の日の前日までに輸出協議会に到達しないときは、無効とする。

3 第1項の代理人は、代理権を証する書面を輸出協議会に提出しなければならない。

4 第14条の規定の適用については、第1項の規定により議決権を行使した者は、総会に出席したものとみなす。

(議事録)

第17条 総会の議事については、議事録を作成しなければならない。

2 議事録は、少なくとも次の各号に掲げる事項を記載する。

- 一 開催日時及び開催場所
- 二 会員の現在数、当該総会に出席した会員数、前条第4項により当該総会に出席したとみなされた者の数及び当該総会に出席した会員の氏名
- 三 議案
- 四 議事の経過の概要及びその結果

五 議事録署名人の選任に関する事項

- 3 議事録は、議長及び当該総会に出席した会員のうちから、その総会において選任された議事録署名人2名以上が署名押印しなければならない。
- 4 議事録は、事務局に備え付けておかなければならない。

第5章 秘密保持

(秘密保持)

第18条 輸出協議会の会員は、第3条の事業を達成するために総会等で相互に開示した情報及び相互の接触交流により知り得た相手方の情報で、開示に際して秘密である旨を明示した情報（以下「輸出対策情報」という。）を、相手方の事前の文書による承諾なしに第三者に漏洩してはならない。ただし、次のものは秘密保持対象から除外する。

- 一 開示を受けた際、既に自ら所有し、又は第三者から入手したもの。
- 二 開示を受けた際、既に公知公用であったもの。
- 三 開示を受けた際、輸出協議会の会員の責めによらないで公知又は公用となったもの。

2 輸出協議会の会員は、輸出対策情報を相手方の承諾なしに、目的以外のために使用してはならない。

第6章 経費及び会計

(経費の構成)

第19条 輸出協議会の資産は、次に掲げるものをもって構成する。

- 一 各部会からの負担金
- 二 国庫補助金
- 三 大分県負担金
- 四 その他の収入

(経費の管理)

第20条 輸出協議会の経費は、会長が管理し、その方法を定める。

(会計年度)

第21条 輸出協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第22条 輸出協議会事業計画及び収支予算は、毎会計年度開始前に会長が作成し、総会に提案し議決を得なければならない。

(事業報告及び収支決算)

第23条 輸出協議会の事業報告及び収支決算は、会計年度終了後、速やかに会長が次の書類を作成し、監事に提出して、その監査を受けなければならない。

- 一 事業報告書
- 二 収支決算書

2 監事は、前項の書類を受理したときは、これを監査し、監査報告書を作成して総会に提出

しなければならない。

(剰余金の処理)

第24条 輸出協議会の収支決算に剰余金があるときは、各部会に精算するものとする。

第7章 事務局

(事務局)

第25条 輸出協議会には、事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。

3 職員の任免は、会長が行う。

4 事務局の組織及び事業運営並びに職員の任免に関し必要な事項は、会長がこれを定める。

5 事務局は、大分県農林水産部おおいたブランド推進課内に置く。

第8章 補 則

(委任)

第26条 この設置規程に定めるもののほか、輸出協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(残余財産の処分)

第27条 この輸出協議会が解散した場合、その債務を弁済してなお残余財産があるときは、総会の議決するところに従い処分するものとする。

附則

平成16年 6月 1日施行

平成17年 6月 8日改正

平成18年 6月 6日改正

平成25年 6月10日改正

平成26年 5月22日改正

令和 3年 5月25日改正

大分県の農林水産物輸出促進について

県産農林水産物(大分県で生産される農産物、林産物、水産物、畜産物等)の海外輸出の促進、販路の開拓の推進によって、地域農林水産業の振興を図ることを目的とした「ブランドおおいた輸出促進協議会」を関係機関で組織し、輸出促進を図っている。



【研修会】

講 演：「シンガポールへの農林水産物輸出状況や現地ニーズについて」

講 師：ジェトロシンガポール

LINK & SUPPORT Consulting Service Pte,Ltd. 大塚 嘉一 氏

メモ